

令和4年3月26日(土)に、文京キャンパスにおいて、令和3年度定時評議員会が開催され、「令和4年度学校法人拓殖大学事業計画・予算案」が審議され、原案通り承認されました。

令和4年度の事業計画及び予算の概要は、次のとおりです。

## I. 事業計画

### ◆令和4年度事業計画策定について

#### はじめに

予算編成に当たっては、18歳以下人口の減少加速や入学定員管理の厳格化等により私立大学を取り巻く環境がますます厳しい状況にある中で、法人並びにその設置する学校の設置目的及び使命を達成し、持続可能な安定した財政基盤と時代の要請に応える教学体制を構築するため、費用対効果の妥当性・適切性、既存事業の見直しなど多岐にわたり検証しました。

予算編成における取り組みとして、継続事業(経常的支出)については、節減の姿勢を堅持し当年度予算額(令和3年度)のゼロシーリングを原則としています。なお、中長期計画で策定された基本戦略に基づいた事業を優先的に実行することとしており、具体的な事業内容は、後述の「令和4年度事業概要」に示すとおりです。

### 令和4年度事業方針について(理事長)

#### 1. 法人運営の基本方針

本学は、令和2年(2020年)11月に創立120周年を迎え、同時に記念式典を挙行了しました。新型コロナウイルス感染下、ごく限られた出席者により質素かつ厳かに執り行い、あらためて歴史の重みを感じ得ました。昨年開催される予定であった東京オリンピック・パラリンピックは、新型コロナウイルス感染症の広がりにより、本年、緊急事態宣言下、無観客という厳しい条件のもと開催されましたが、大学においても、各種イベントの見送りや遠隔による授業が余儀なく実施されております。

今日、国際社会はグローバル化のなかで、協調的志向から自国主義的な対立の傾向が広がりつつあり、世界の平和と安全に不安を与えております。

一方、国内に目を転ずれば、少子化に伴う人口減少、経済のグローバル化への対応、国連が提唱した持続可能な開発目標SDGs(Sustainable Development Goals)への取り組み、Society 5.0(第5期科学技術基本計画)に向けた人材育成、AI(Artificial Intelligence:人工知能)・IoT(Internet of Things:モノのインターネット)といった科学技術による新たな社会の到来、技術革新による急激な変化への対応、地域社会の振興など、わが国の将来に係わる喫緊の重要課題が山積しております。

また、大学を取り巻く環境、なかんずく18歳人口の減少基調は、中央教育審議会(平成30年11月26日)による「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」において、2040年の将来予測が公表され、国内の18歳人口は2017年の120万人から2040年には88万人へと減少し、大学進学者数についても現在の約80%の51万人となる見通しであります。

このような状況下、2019年度以降の私立大学における入学定員管理の厳格化と新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた定員管理など私学助成における新たなルールは、教育の質向上に寄与する反面、財政面への影響が懸念され、これまで経験したことのない厳しい時代を歩んで行かねばなりません。定員管理の厳格化は引き続き大学をはじめとする法人全体の存続発展に係わる重要な経営課題であります。これらの時代的環境と大学に課せられた社会的使命の認識に立って、来るべき2030年に向けて時代の要請に応えるべく「教育の質の向上」と「教学組織の改革」を推進し、更なる「財政基盤の強化」に取り組む必要があります。

従って、そのためには何よりも法人そのものの存在基盤となっている「学園共同体」としての学生・教職員並びに評議員・卒業生との連携強化を図り、本学の明るい未来の構築に全力で取り組まなければなりません。

本学は1900年(明治33年)に台湾協会学校として創立されて以来、これまで海外で活躍できる人材、現地の人々と共に汗を流し、地域の福祉と発展に貢献できる有為な人材を輩出してきました。本学関係者はその今日的価値と使命を再確認し、国の内外を問わず社会が抱えている諸課題に対し積極的に挑戦し、社会の発展や福祉の向上に貢献出来る有為な人材、すなわち「拓殖人材」を育成するため、これまで創立120周年にあたる2020年に向けた大学改革への取組として「教育ルネサンス2020」(2015年～2020年の戦略)グランドデザインを策定し、教学と経営の改革に取り組んで参りました。

そして、令和3年4月よりこれらの成果を踏まえ、次の2030年に向け持続可能な更なる財政基盤と教学体制の構築を目指して「学校法人拓殖大学 中長期計画【教育ルネサンス2030】」を策定し、新たな展開をしております。

#### 2. 学校法人拓殖大学中長期計画【教育ルネサンス2030】

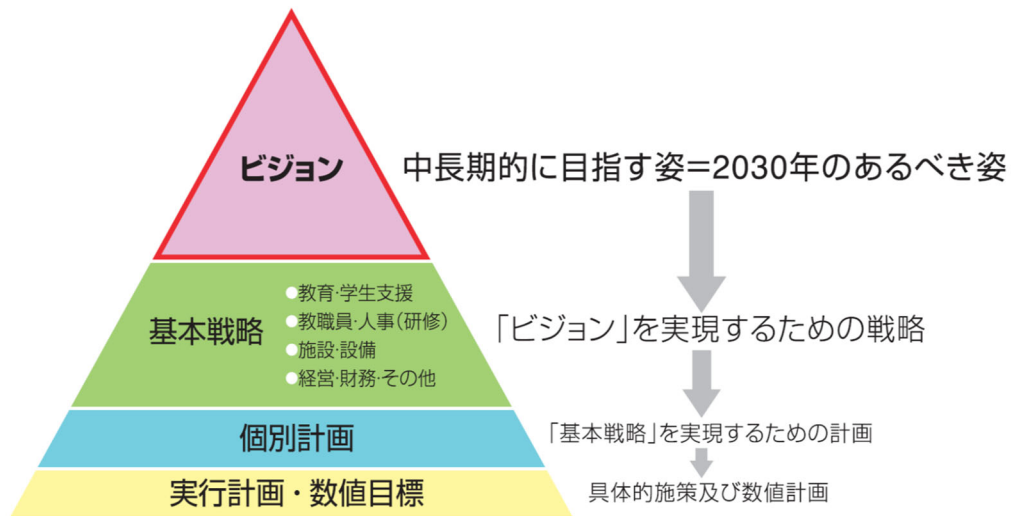
令和2年、認証評価基準を厳格化する「学校教育法の一部を改正する法律」と「私立学校法の一部改正」が行われ、私立大学における教育の質の向上を図るため中期的な計画の策定義務化や役員の責任の明確化によるガバナンスが強

化されることとなり、同時に各学校法人の施策の詳細部分については、私立大学の関係団体等が「私立大学版ガバナンス・コード」を行動規範として策定し、私立大学の主体性を重んじ自律的なガバナンスの確保が求められています。

本学は、来るべき2030年に向けて「学校法人拓殖大学中長期計画【教育ルネサンス2030】」が策定されたことにより、各設置校（拓殖大学並びに拓殖大学北海道短期大学、拓殖大学第一高等学校）が時代の要請に応えるべく「教育の質保証」を推進し、グローバル人材「拓殖人材」育成の更なる充実を図り、「ミッション」・「ビジョン」に基づく「教育・学生支援」、「教職員・人事（研修）」、「施設・設備」、「経営・財務・その他」の基本戦略に基づき諸事業を展開します。

## 構成

# ビジョンを基に基本戦略や個別計画等を策定



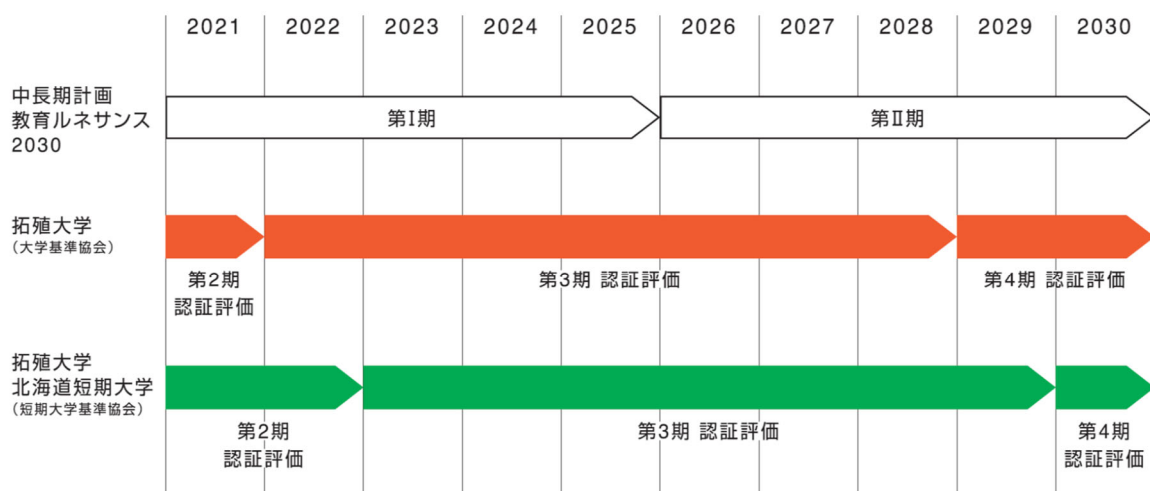
## 期間

# 2030年に向けて第I期・第II期と分けて展開

第I期：2021(令和3)年4月～2026(令和8)年3月

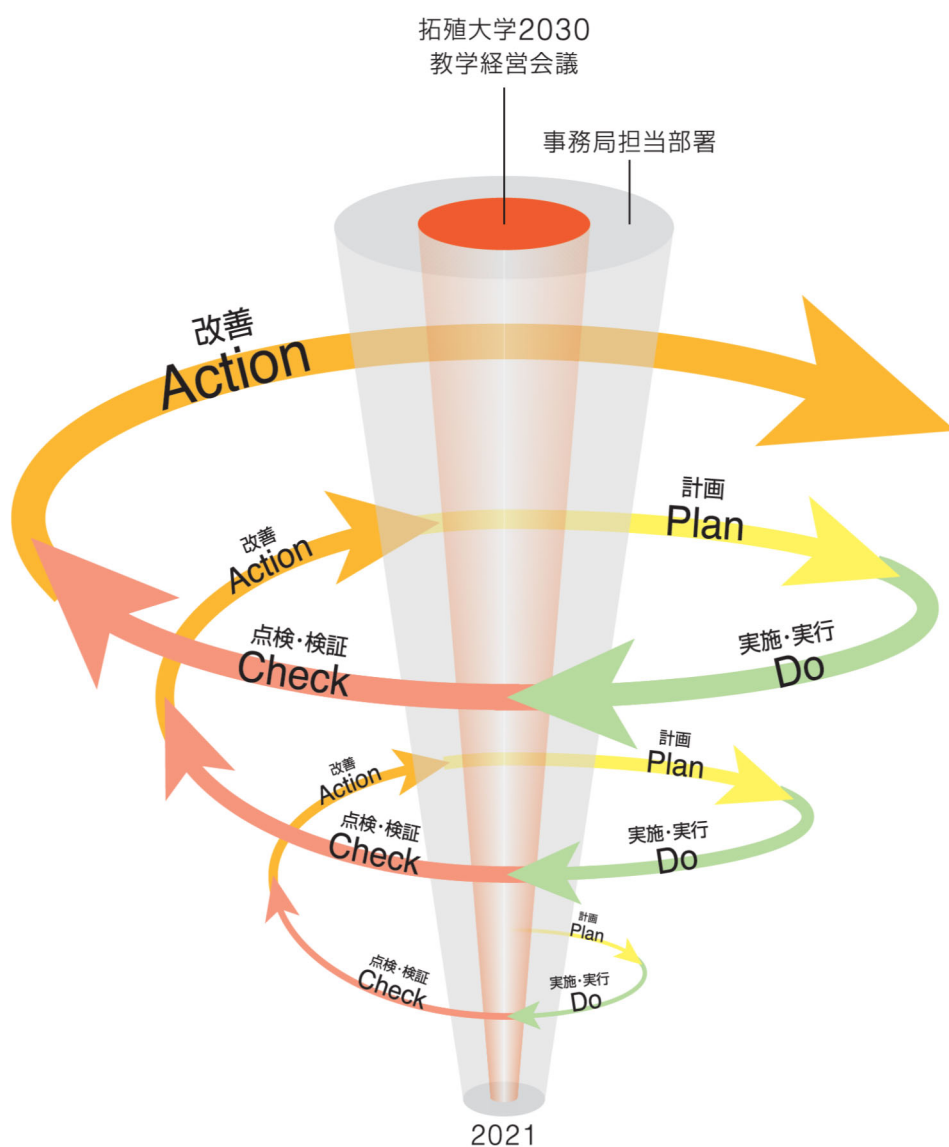
第II期：2026(令和8)年4月～2031(令和13)年3月

※5年目の2025(令和7)年に計画を見直します。



## PDCAサイクルにより中長期計画運営を実施

中長期計画は定期的に進捗状況をチェックするとともに、PDCAサイクルによる進行管理を行います。また大学基準協会による認証評価結果や社会状況の変化等により適宜見直しを実施します。



毎年度の予算編成と事業計画は、中長期計画を基に作成します

### 3. 令和4年度予算編成にあたって

#### 基本的考え方

令和4（2022）年度は、中長期計画の「ビジョン」（＝2030年のあるべき姿）実現に向け策定した「基本戦略」・「個別計画」・「実行計画・数値目標」、「アクションプラン」（別紙「学校法人拓殖大学 中長期計画【教育ルネサンス2030】区分一覧表」参照）を考慮し、事業計画を立案すること。

- （1）「学校法人拓殖大学中長期計画【教育ルネサンス2030】」に基づき、各設置校（拓殖大学並びに拓殖大学北海道短期大学、拓殖大学第一高等学校）は、時代の要請に応えるべく「教育の質保証」を推進し、グローバル人材「拓殖人材」育成の更なる充実を図るとともに、今まで以上の「財政基盤の強化」に取り組む必要がある。
- （2）事業計画策定にあたっては、本法人の現在保有している限られた資産（人的財産・歴史的財産・土地・建物）を最大限に有効活用して、各設置校の発展を図るために、全ての事業について費用対効果を原則とする。
- （3）予算編成にあたっては、文部科学省による入学者数の抑制強化による影響等を充分勘案し、今後一層、財政基盤の充実・安定を図るべく事業計画を策定することとする。特に大学・短期大学においては18歳人口の減少、高等学校においては15歳人口の減少を踏まえ、物件費及び人件費の抑制に努める。
- （4）令和4（2022）年度の工学部情報工学科定員増に伴う教育活動支援を確実に行う。
- （5）公益財団法人「大学基準協会」の第三期認証評価（令和3年度）を踏まえ、PDCAサイクルに基づく内部質保証機能を推進し、事業計画を立案する。
- （6）新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き「ハイブリット型」授業の構築および施設・設備の「デジタル化」の推進と、「ウィズコロナ」・「アフターコロナ」時代における学生に対する経済的支援を図る。
- （7）「学園共同体」として、各設置校間（拓殖大学・拓殖大学北海道短期大学・拓殖大学第一高等学校）の相互理解や連携強化により、力の結集を図る。
- （8）事務局各部長は、所属各課の令和2年度の決算結果及び令和3年9月までの事業評価を総括し、令和4（2022）年度事業計画（予算）策定にあたっては、部単位を基本とし、次のとおりとする。
  - ① 新規事業については、中長期計画に基づく事業を優先し、別途事務局長に申請する。
  - ② 継続事業（経常的支出）については、原則として令和3年度当初予算額のゼロシーリングとする。

なお、これまでの事業内容を再度見直し、費用対効果を検証し、極力抑制に努める。

## ◆令和4年度事業概要

学校法人拓殖大学中長期計画【教育ルネサンス2030】の「ビジョン」に基づき実施する令和4年度の主な新規事業等は以下のとおりとなっています。

### ◎拓殖大学教育ルネサンス2030

#### 1. 拓殖大学

##### (1) 教育・学生支援

- ①教育ルネサンス2030プロジェクト（英語力の強化・向上、実践的な職業教育の充実等）
  - ②講義要項・教員情報システムSDGs関連検索機能追加及びシステム移行
  - ③高等教育の修学支援新制度による授業料等減免
  - ④地域連携事業の強化発展
  - ⑤アントレプレナー育成プログラム実施
  - ⑥外国人留学生日本語能力試験受験支援
  - ⑦ITパスポート試験対策講座開講
  - ⑧企業とのオンライン面接用等個人ブース設置
  - ⑨外国人留学生と日本人学生の交流体験学習
  - ⑩文京 C館300人教室固定机PC用コンセント設備設置
  - ⑪文京 C館1階PC・CALL教室設備更新
  - ⑫文京 C館PC自習室設備更新
  - ⑬文京 D館PC教室設備更新
  - ⑭工学部デザイン学科PC必携化による専門科目対応「Adobe CC」ライセンス購入
  - ⑮八王子 工学部棟PC室1・3・4、情報実験室1代替用PC購入
  - ⑯八王子 工学部棟エレクトロニクス実験室1デジタルオシロスコープ更新
  - ⑰八王子 工学部棟エレクトロニクス実験室2直流安定化電源更新
  - ⑱八王子 工学部棟機械システム工学実験室AV設備及び什器更新
  - ⑲八王子 D館201・202教室AV機器更新
  - ⑳サニタリー用品販売機増設
  - ㉑インターネット出願システム（総合型・学校推薦型公募制試験等）導入
  - ㉒Microsoft Teams技術サポート導入
- ◇オレンジプロジェクト
- ①学生生活を充実させるためのグローバルな活動や実践的な体験等による学生支援
  - ②大学環境改善から企画提案力を磨き、大学力（ブランド）の向上へ繋げるキャリア支援
  - ③地域共存型の文京キャンパスの特性を活かしたコミュニティ形成と防災啓蒙活動
  - ④八王子国際キャンパスを地域と共に活性化、持続可能なまちづくりと防災活動の推進
  - ⑤女子学生満足度向上のための諸活動
  - ⑥スポーツオープンキャンパス、社会人基礎力育成グランプリ実施他、全グループ共通経費

##### (2) 施設・設備

###### ◇文京キャンパス

- ①C館防水補修工事
- ②C館自動扉修繕工事
- ③F館照明器具更新工事
- ④F館屋外排水管盛替え工事
- ⑤G館電話交換機更新工事
- ⑥留学生寮外壁他修繕工事
- ⑦入退出管理装置、空調設備用自動制御機器等保全部品交換

###### ◇八王子国際キャンパス

- ①D館1階から4階照明器具更新工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ②B館空調設備改修工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ③管理研究棟空調設備改修工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ④麗澤会館屋上防水補修工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ⑤サッカー場人工芝更新工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ⑥ビッグテント改修工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ⑦第1体育寮2階・3階内装改修工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ⑧第2体育寮受変電設備改修工事（八王子国際キャンパス整備事業）

- ⑨キャンパス構内街路灯更新工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ⑩恩賜記念館屋上防水補修工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ⑪南門学生駐車場ゲート更新工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ⑫工学部棟高圧受電設備修繕工事及び管理研究棟電気室V C B交換工事
- ⑬専用水道塩素監視装置更新工事
- ⑭第2体育寮駐輪場改修工事
- ⑮第2体育館レスリング道場マット更新
- ⑯第2体育館製氷機更新
- ◇I C T設備
- ①学務システムハードウェア保守委託
- ②教研L A Nサーバ更新
- ③教研系ネットワーク機器（C o r eスイッチ、E d g eスイッチ）更新
- ④事務系ネットワーク機器（C o r eスイッチ、E d g eスイッチ）更新
- ⑤D e s k n e t ' sサーバ更新
- ⑥基幹D N Sサーバ更新及びD N Sセキュリティサービス導入
- ⑦ネットワーク監視ツール更新

### （3）教職員・人事（研修）・経営・財務・その他

- ①事務職員の研修体制構築
- ②新就業システム稼働及び就業情報システムタイムレコーダー更新
- ③定型的な業務の自動化R P A（R o b o t i c P r o c e s s A u t o m a t i o n）機構導入による業務省力化
- ④繰り上げ補欠合格システム導入による業務省力化
- ⑤八王子 防災用品の計画的備蓄
- ⑥学部紹介W E Bサイトの新システム移行及びリニューアル
- ⑦学部・大学院外国語W E Bサイトリニューアル
- ⑧拓殖大学紹介D V D制作（教育ルネサンス2030）
- ◇新型コロナウイルス感染症対策関連
- ①入構者への検温体制整備
- ②教室等消毒作業実施
- ③感染症予防対策物品購入

## 2. 北海道短期大学

- ①大学・短期大学基準協会認証評価受審経費
- ②高等教育の修学支援新制度による授業料等減免
- ③P C教室機器更新
- ④図書管理システム導入
- ⑤農産加工実習室 小型簡易レトルト殺菌器導入
- ⑥実習棟 大型定温送風乾燥機導入
- ⑦実験・実習農場 自走式自動脱穀機導入
- ⑧実験・実習農場 ビニールハウス自動開閉装置導入
- ⑨実験・実習農場 堀取機更新
- ⑩組織培養実験室 乾燥機付き器具保管庫更新
- ⑪農場管理棟 汚水槽ポンプ更新工事
- ⑫本館棟 外壁修繕調査

## 3. 第一高等学校

- ①オンライン学習サービス スタディサプリE n g l i s h 4技能導入
- ②校舎棟・体育館棟 エアコン更新
- ③校舎棟 多目的ホール空調機更新
- ④教室用プロジェクタ設置
- ⑤体育館 照明L E D化工事
- ⑥体育館 フローリングメンテナンス
- ⑦電子図書館サービス導入
- ⑧事務（学籍）L A Nサーバ更新
- ⑨校務システムカスタマイズ

- ⑩校内LAN運用サポートデスク導入
- ⑪教員校内LAN予備PC追加導入
- ⑫屋上外気取り入れ送風機廻り修繕工事

**◎その他**

1. 拓殖大学

- ①キャンパス周辺マナー指導員配置
- ②文京 D館国際協力学研究科専任教員室及び非常勤講師控え室複合機更新